

関川で見られる植物群落と植物 (植物図鑑)

群落名 ヤナギ低木林



川岸に見られます。カワヤナギ、タチヤナギ、イヌコリヤナギといったヤナギ類で、丈の低い林となっています。河口から、2 kmのあたりより上流の、川のそばに、連続して見られます。水ぎわに生えていて、水害を防ぐ役割をもった、重要な植物のまとまりです。

群落名 ツルヨシ草地



川の水ぎわや、溪流のそばで、おもに、流れが急なところに見られます。関川の上流から中流の川のそばに、生えています。水ぎわで、やや流れの速いところには、ヤナギ低木林といっしょに見られます。また、中流のあたりでは、流れのゆるやかな川のそばでも見られます。

群落名 ニセアカシア低木林等



ニセアカシアが大部分を占め、いっしょに生えている植物は、ほとんど見られない林です。同じように、オニグルミ、ハンノキでつくられた丈の低い林が、湿ったところに見られます。関川の上流から中流にかけて、川のそばの湿ったところの、あちらこちらに見られます。

群落名 オギ草地



ススキ草地によく似ています。おもに、中流から下流の、川のそばに見られます。関川の上流から下流までの川のそばで、ヨシ群落ととり合った陸地側で、よく見られます。

群落名 ヨシ群落



湿ったところや、ゆるやかな流れの川のそばには、ヨシが生い茂ります。水の動きがほとんどないところで、もっともふつうに見られる草地です。河口から1.5kmのあたりより、上流に見られます。河口から1.4km～2.6kmの右岸、7.0～7.2kmの右岸、8.5～9.2kmの左岸あたりに、大きなまとまりが見られます。

群落名 ススキ草地



ススキが大部分を占めている、丈の高い草地で、おもに、野焼き、採草、放牧、耕作されなくなった畑地に見られる草地です。関川の上流から下流の、乾燥している荒れ地や、定期的に草の刈り取られるところに、見られます。